

令和7年度第1回京都府中丹地域医療構想調整会議 概要

(1) 病床数適正化支援事業について＜資料1＞

事務局：資料に基づき、事業概要及び中丹の状況を説明

【主な意見等】

- ・急性期医療を中心としている病院は、あらゆるコスト高でやればやるほど赤字になる厳しい状況である。急性期医療に加えて在宅療養、看取り支援をすることに対して、何らかの財政補助を考慮していただきたい。

(2) かかりつけ医機能の確保に関するガイドラインについて＜資料2＞

事務局：令和7年4月から、かかりつけ医機能報告制度が施行。毎年1～3月の各医療機関の定期報告に基づき、課題について協議を行う。

→特に意見等なし

(3) 2040年を見据えた地域包括ケアのあり方について＜資料3＞

事務局：資料に基づき、今後の進め方について説明

中丹地域では福知山市を重点地域に設定し、具体的な対応策を検討

【主な意見等】

- ・綾部市は資料では介護資源が医療需要をカバーする関係となっているが、医療がひっ迫している状況ではない。
- ・大きな課題となる担い手不足について、何か具体的な方策案はあるのか。
→事務局) 現時点ではないが、御意見を伺いながら進めていきたい。

(4) 舞鶴市医療機能最適化検討会議について＜資料4＞

舞鶴市：資料に基づき、公的4病院の再編・統合に向けた取り組みの経過及び今後の進め方について説明

【主な意見等】

- ・この内容は中丹に留まらず、丹後や福井県への影響もあるのではないかと。
→事務局) その通りである。中丹、丹後、福井県の動き等を勘案し、御意見を伺いながら最適な医療提供体制を考えていきたい。
- ・京都府としても、市と協力し、より最適な形へ進めていきたい。